

【概 況】

〔平成19年の気象の特徴〕

年間を通しての特徴

今年の奈良は「高温少雨」であった。

気温

今年の年平均気温15.3℃は、平年を0.7℃上回り、年平均気温の高い方から6位と高かった。月別では、4月と7月の月平均気温は平年に比べ低かったが、その他の月は平年より高く、顕著な高温となる月もあった。2月の月平均気温が平年を2.4℃上回るなど今年の冬は暖冬であった。8月16日は熊谷と多治見で40.9℃を観測し、今までの日本最高記録40.8℃を更新した。奈良でも、この日は37.9℃を観測し今年の最高気温で奈良の日最高気温の高い値の6位となった。このことなどから、8月の月平均気温は平年を1.2℃上回り、8月の月平均気温の高い方から3番目となった。9月も月平均気温が平年を2.4℃上回り、9月の月平均気温の高い方から2番目となり、残暑が厳しく長続した。

降水量

年間降水量は平年と比べ少なかった。今年の年間降水量1,109.5mmは、平年の83%で、年間降水量の少ない方から7位と少なかった。7月と12月の月間降水量は平年より多かったが、その他の月は平年並か平年より少なかった。7月の月降水量254.5mmは平年(172.9mm)の約1.5倍と多かったが、その他の月は、平年並か平年を下回った。7月の中でも中旬の降水量は14日から17日の間に、台風第4号や梅雨前線の活動が活発になったため平年の2.7倍となった。

梅雨の特徴

梅雨前線は6月下旬から7月に活動が活発になった。梅雨入り6月14日ごろは平年(6月6日ごろ)より遅く、梅雨明け7月24日ごろは平年(7月19日ごろ)より遅く、梅雨期間の降水量は平年より多かった。

台風の特徴

今年は、7月14日ごろに台風第4号が南岸を東進し、梅雨前線の活動が活発となったため、南部を中心に大雨となった。また8月2日ごろには台風第5号が、九州から日本海を北東進したため、奈良県南部で大雨となった。これ以外は、奈良県では台風による大きな影響は無かった。平成19年の台風の発生数は24個で、平年(平年26.7個)より少なかった。一方、日本に上陸した数は3個で、平年程度(平年2.6個)であった。また、日本に接近した数は12個(平年10.8個)で、近畿地方への接近数は4個(平年は2.8個)で平年よりも多かった。

〔月別の気象概況〕

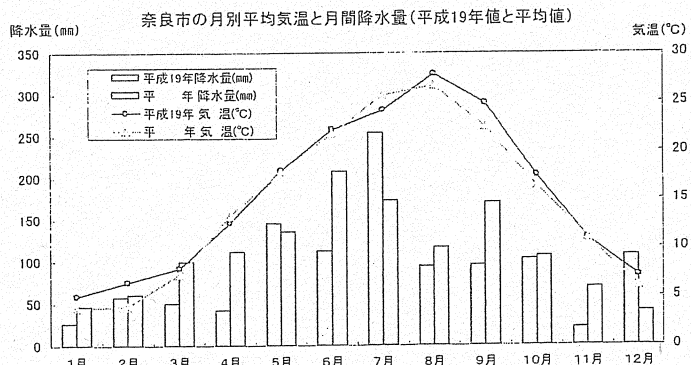
1月：冬型の気圧配置は長続きせず、高気圧に覆われる日が多かったため、晴れた日が多かった。このため、奈良における月平均気温は平年より高く、月降水量は平年より少なく、月間日照時間は平年並となった。

1月の奈良の月平均気温5.0℃は、1月の奈良の月平均気温の高い値の6位であった。

2月：一時的に、冬型の気圧配置が強まったが、高気圧に覆われる日が多かったため、晴れた日が多かった。奈良における月平均気温は平年より高く、月降水量は平年並、月間日照時間は平年より多かった。

2月の奈良の月平均気温6.4℃は、2月の奈良の月平均気温の高い値の3位であった。

2月の奈良の月間日照時間141.5hは、2月の奈良の月間日



(注) 平年値とは1971年から2000年の平均

資料：奈良地方気象台

- 照時間の多い値の5位であった。
- 3月：中旬は冬型の気圧配置が強まったため、気温は低かったが、上旬と下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。下旬は前線の影響で短時間強雨となる日があった。上旬と下旬は高気圧に覆われる日が多かったため、奈良の旬平均気温は平年を $2^{\circ}\text{C}$ 以上上回り、中旬は冬型の気圧配置となる日が多かったため、旬平均気温は平年を $2.6^{\circ}\text{C}$ 下回るなど、気温の変動が大きかった。奈良における月平均気温は平年より高く、月降水量は平年より少なく、月間日照時間は平年より多かった。3月の奈良の月間降水量 $50.0\text{mm}$ は、3月の奈良の月間降水量の少ない値の6位であった。3月の奈良の月間日照時間 $180.7\text{h}$ は、3月の奈良の月間日照時間の多い方から9位であった。
- 4月：期間中は、低気圧や前線が頻繁に通過したため、短い周期で天気が変わった。また、低気圧や前線の通過後に寒気が入ることが多かったため、月平均気温は低く4月4日はこの時期には珍しくみぞれを観測した。一方、西日本を通過する低気圧や前線は、発達することがなかったため月降水量は少なかった。奈良における月平均気温は平年より低く、月降水量は平年より少なく、月間日照時間は平年並であった。4月の奈良の月降水量 $42.0\text{mm}$ は、4月の奈良の月間降水量の少ない方から2位であった。
- 5月：期間中は、高気圧に覆われ晴れた日と、低気圧や前線等の影響でまとまった降水量となった日があり、天気の変化は大きかった。また、南から暖かく湿った空気が流入する日と、北から寒気が流入する日があり寒暖の差も大きかった。しかし、月統計値にすると月平均気温・月降水量・月間日照時間はすべて平年並となった。26日と27日は顕著な黄砂が観測され、視程障害や車に黄砂が付着するなどの被害が発生した。奈良における奈良の月平均気温は平年並、月降水量及び奈良の月間日照時間も平年並であった。
- 6月：期間中は、梅雨前線が近畿地方に停滞したことなどにより、曇りや雨となる日があった。梅雨前線は近畿地方で活動を強めることが少なかったため、奈良の月間降水量は平年の半分程度であった。上旬は大気の状態が不安定となり、局地的な強雨となることがあった。また、この時期としては晴れ間が多く日照時間が多くなった。大阪管区気象台は、「6月14日ごろ（平年6月6日ごろ、昨年6月8日ごろ）に近畿地方は梅雨入したと見られます」と発表した。奈良における月平均気温は平年より高く、月降水量は平年より少なく、月間日照時間は平年より多かった。6月の奈良の月降水量 $112.5\text{mm}$ は、6月の奈良の月間降水量の少ない方から10位であった。
- 7月：太平洋高気圧の北への張り出しが弱かったため、曇りや雨の日が多く、月間日照時間が平年の $58\%$ と少なく、月平均気温も平年を $1.5^{\circ}\text{C}$ 下回った。中旬には、台風第4号が西日本の南岸を東進したことなどにより、旬の降水量が平年の約 $2.7$ 倍と多くなったため土砂災害や浸水などの被害が発生した。大阪管区気象台は「7月24日ごろ（平年7月19日ごろ、昨年7月27日ごろ）に近畿地方は梅雨明けしたと見られます」と発表した。奈良における月平均気温は平年よりかなり低く、月降水量は平年より多く、月間日照時間は平年よりかなり少なかった。7月の奈良の月平均気温 $24.1^{\circ}\text{C}$ は、7月の奈良の月平均気温の低い値の6位であった。7月の奈良の月間日照時間 $100.9\text{h}$ は、7月の奈良の月間日照時間の少ない値の5位であった。
- 8月：期間中を通して太平洋高気圧の勢力が強かった。また、南から湿った空気が入り大気の状態が不安定となることもあった。このため、局地的な短時間強雨となることが多かった。特に、2日～4日は台風第5号の影響もあり南部を中心に大雨となった。奈良の8月の月平均気温 $27.8^{\circ}\text{C}$ は8月の月平均気温の高い方から3番目の記録となるなど、気温が高かった。特に、16日の奈良の日最高気温 $37.9^{\circ}\text{C}$ は日最高気温の高い方から6番目の記録となるなど、中旬の平均気温が平年を $2.3^{\circ}\text{C}$ 上回った。奈良における月平均気温は平年よりかなり高く、月降水量は平年並、月間日照時間は平年より多かった。8月の奈良の月平均気温 $27.8^{\circ}\text{C}$ は、8月の奈良の月平均気温の高い値の3位であった。
- 9月：期間中は、南から暖かく湿った空気が入ることが多く、大気の状態が不安定となり、局地的な短時間強雨となることがあった。また、気温が高く7日は9月の日最低気温の高い方からの極値を更新した。奈良における月平均気温は平年よりかなり高く、月降水量は平年より少なく、月間日照時間は平年よりかなり多かった。

- 9月の奈良の月平均気温は24.8℃は、9月の奈良の月平均気温の高い値の2位であった。9月の奈良の月間日照時間179.8hは、9月の奈良の月間日照時間の多い値の6位であった。
- 10月：期間中は、晴れた日が多かったが、低気圧等の影響で天気が崩れ、まとまった降水量となることもあった。特に19日は低気圧が日本海と紀伊半島沖を東進したため、県内各地で大雨となった。高気圧に覆われた日や南から暖かく湿った空気が流入した日が多く気温が高かった。奈良における月平均気温は平年より高く、月降水量と月間日照時間は共に平年並であった。  
10月の奈良の月平均気温は17.4℃は、10月の奈良の月平均気温の高い値の第7位であった。
- 11月：上旬は、気圧の谷や前線の影響で天気が崩れることがあった。中旬と下旬は雲が広がることはあったが、天気の崩れは小さかった。11月の上旬以降は降水量が少ない状態が続いたため、11月30日に「少雨に関する奈良県気象情報 第1号」を発表した。大阪管区気象台は、11月18日に「近畿地方で木枯らし1号が吹きました」と発表した。奈良における月平均気温は平年並、月降水量と月間日照時間は平年より少なかった。11月の奈良の月間降水量21.0mmは、11月の奈良の月間降水量の少ない方から4位であった。
- 12月：期間の始めは高気圧に覆われて晴れた日が多く、中旬以降は気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多くなった。特に下旬は低気圧の影響でまとまった降水量となる日があり、下旬の降水量84mmは平年の5倍以上であった。奈良における月平均気温は平年より高く、月降水量は平年よりかなり多く、月間日照時間は平年より少なかった。  
12月の奈良の月平均気温7.0℃は、12月の月平均気温の高い値の第7位であった。12月の奈良の月間降水量107.5mmは、12月の月降水量の多い値の第2位であった。

資料：奈良地方気象台「奈良県の気象」

